

# 秩序を乱す不法者は見逃さん！

## ～最新鋭漁業取締船と取締業務～

高知県海洋局

# かつお通信

高知市丸の内  
高知県海洋局  
発行人 久保田寿一  
編集人 海洋企画課  
定価 無料

漁業資源を持続的に利用していくためには、漁業者による資源の管理が重要ですが、そのためには、秩序ある漁業の操業が大前提となります。  
県では漁業秩序を維持するため、日夜、違反漁業の取り締まりを行っており、特に本年度からは、最新鋭取締船の3隻体制が整い、より効率的、効果的な取り締まりを展開しています。  
今回は、違反者から恐れられる最新鋭取締船の概要と危険で厳しい漁業取締業務についてご紹介します。



高速漁業取締船「くろしお」(高知港)

**強化された体制**  
県の漁業取締は、漁業管理課保安漁船班が司令塔となり、海と河川の漁業秩序維持のため、海からだけでなく時には陸からも取締活動を行っています。海面の取締体制としては、平成十四年から三年間で導入した最新鋭の取締船「小鷹(空戸)」、「くろしお(高知)」、「さかぜ(平佐清水)」を配置し、土日、昼夜を問わない取り締まりを実施しています。

また、年々巧妙化する漁業違反に対して、警察海上保安部との連携の強化、あるいは強制捜査の実施など取締能力の向上も図っており、平成十五年には長年の懸案であった底びき網違反の検挙により知事表彰をつけるなど、着実に実績も上がっています。



高感度CCDカメラ

**最新鋭船の装備**  
2千馬力×2基のエンジンで最大速力は三十五ノット、横揺れ防止のフィンスタブライザーの装備により十五ノットの横風時でも難なく航行できます。また、数km先でもブレずに鮮明に見渡せる高感度CCDカメラで、夜間の監視も万全。船尾には搭載

# きれいな漁場を次の世代に 適正給餌に努めましょう 漁場へのゴミ投棄はやめましょう

艇も備え、臨機応変に対応します。  
航続距離も大幅に伸び、数日に渡る取り締まりにも対応できるよう、調理室、寝室など居住性も向上させています。

### 危険と隣り合わせ

最近の漁業違反は、悪天候時を狙ったり、見張りを置いて携帯電話で連絡を取り合うなど、益々巧妙化・組織化・常習化してきています。  
特に、暴力団が絡んだしらすうなぎの違反などでは、いかに屈強な取締船員といえども、身に危険を感じることもさへあります。実際、過去には取締活動中に石が飛んできたり、脅迫を受けた事例もあるほどです。

このように取締船員は、常に危険と隣り合わせという状況の中、日夜、地道な取締活動を行うことによって、本県の漁業秩序を根底で支えています。

また、危険で厳しい取締業務の中での一番の喜び、苦労が報われる瞬間は、やはり違反に悩まされていた漁業者から受ける感謝の言葉と、違反からきっぱりと決別した漁業者が秩序を守って操業をしてくれている姿だそうです。



主機関 (max2,000hp × 2基)

### 規制緩和と秩序維持

海洋局では、地域の漁業者の合意を前提に、漁業資源への影響にも注意を払いながら新しい漁業の導入や、操業区域・期間などの漁業規制の緩和にも積極的に取り組んでいます。

最近の事例としては、高知県では初となる宿毛湾などへのまき網漁業の導入や、ちりめんじゃこを獲る機船船びき網漁業の操業期間の延長などがあります。

今後とも、規制の緩和、新たな漁業の導入とともに、強力な取締りを車の両輪として漁業秩序の維持に努めていきます。

【編集後記】  
警察のお世話になったことほとんどない(?)が知人の現役警察官の裏話を聞くと、づく常人では務まらないと実感する。日々我が家の宇宙警察レンジャーに逮捕されています。

【コラム】  
**特別司法警察職員**  
犯罪の捜査や被疑者を検挙する司法警察活動を行う国等の職員を司法警察職員という。最も身近な存在が警察官で、刑事訴訟法で一般司法警察職員として規定される。他方、各法律に基づき各分野の犯罪の捜査について一定の権限を付与されたのが特別司法警察職員である。取締船員は漁業法に基づく特別司法警察職員で、時には手錠、留置場を使用することも。違反者よ、たかが漁業違反と侮るなかれ！

**違法に獲った水産物は所持、販売も禁止されています！**  
県の漁業調整規則では、その実効性の観点から、違法に水産物を獲る行為だけでなく、違法に獲った水産物の所持、販売も禁止しています。  
詳しくは 海洋局HP「漁業調整・規則」